



虎の門病院 認知症科 2022

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2 TEL 03-3588-1111(代)

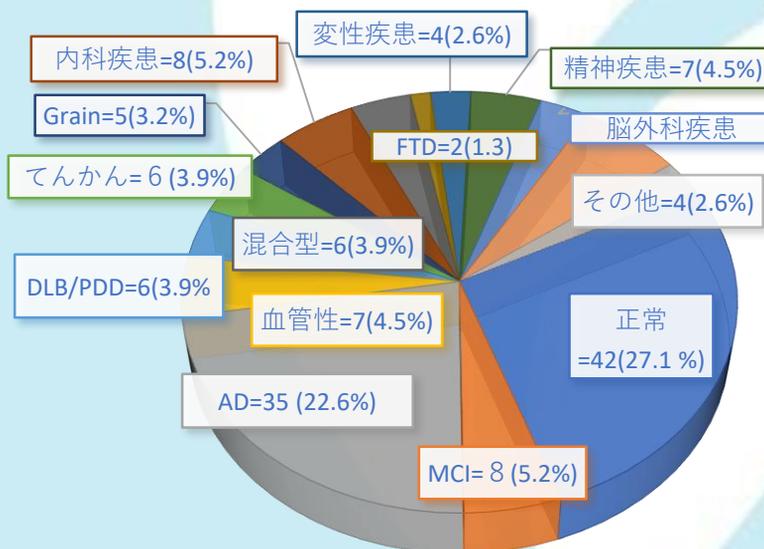
診療科のご案内

認知症の関わるすべてのことを行おうと2015年7月に発足しました。老年医学的な日常生活障害からの視点と大脳の局所診断から考える脳神経内科的な視点、「表出と体験」という精神科の考え方を統合し診断と加療を行います。同時に、介護者の苦悩を一緒に考える「ケアラー外来」も行い認知症の発症予防から診断、そして社会での共生まで一緒に歩んで参ります。

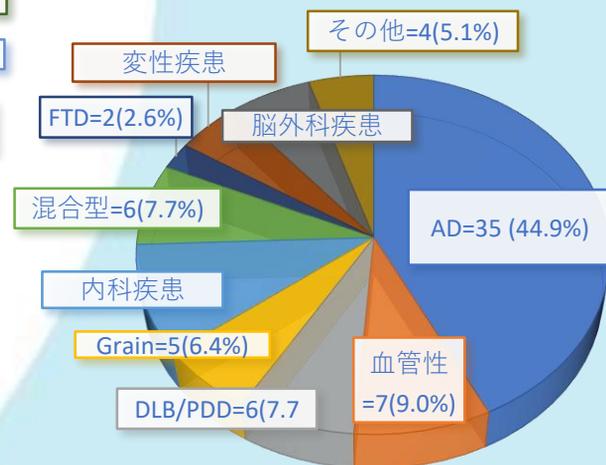
診療体制

軽度の物忘れでも、超早期診断が可能になりました。日常生活障害の指標にはDASC8を用い、高次脳機能検査はMMSE, 改訂長谷川式, MoCA-J、アルツハイマー病評価スケール(ADAS-Jcog)、FAB(frontal assessment battery)、時計描写検査、ノイズパレイドリアテスト、CDR、老年期うつ病評価尺度 (GDS), やる気スコアを標準検査とし、必要に応じウェクスラー記憶検査やウェクスラー知能検査を行います。詳細な神経学的所見と全方向性大脳MRI、脳血流シンチグラフィ、ドパミントランスポーターシンチグラフィ、MIBG心筋シンチグラフィなどの最先端画像診断を駆使し、診断基準に準拠し診断します。診断が難しい若年性認知症や新しい病態修飾薬に備え髄液検査でアミロイドβ蛋白質やリン酸化タウ蛋白質を測定します。★先進医療外来：最先端の髄液検査をもとに診断から治療へつないでゆく外来です。●ケアラー外来：認知症が発症すると家族は患者と適切な関係を築けず、潜在的な家族問題が一気に表在化することがあります。「認知症は極めて家族的な病」であり、家族の精神的なサポートが必要です。「認知症」の解釈を「ありのままを認めそのところを知る」と変え、家族や社会が患者を受け入れる「受容の問題」にも向き合います。

2021年度 診療科実績



2021年度 新患155名(男75,女80) 全診断名



認知症78名(男41,女37)の疾患数と割合

対象疾患

若年性認知症、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、嗜銀顆粒性認知症、神経原線維変化型老年期認知症、正常圧水頭症、ビタミンB1欠乏症、ビタミンB12欠乏症、肝性脳症、てんかんなど認知症を来すすべての疾患が対象になります。

診療科スタッフ



部 長：井桁 之総

資格

日本認知症学会専門医指導医
日本神経学会専門医指導医
日本内科学会指導医
日本老年医学会専門医代議員
臨床研修指導医

ご紹介いただく先生へ

必ず患者さんにももの忘れの検査することと、ご家族と一緒に過ごしていただきますようお願いください。認知症の診断は極めて難しく鑑別診断は70疾患以上にもおよびます。治療可能な認知症を除外し早期に適切に診断することで、早期から介護者を保護し、病気の進行過程を予想し生活様式や環境を整える対策をいち早く立てられます。診断後は、かかりつけ医の先生と地域包括医療を行うことで障害を持って今までと同じ生活ができるように様々な工夫をして参ります。認知症患者との共生の社会の構築を目指し、紹介医の先生方との連携を心からお願い申し上げます。ご質問は、事前に医療連携室へお問い合わせください。また、ケアラー外来のご予約はお電話で受け付けております。

医療機関様からのご予約

医療連携室 03-3560-7823 平日8:30~19:00

患者さんからのご予約

次回予約 03-3560-7690 平日9:00~18:00

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|------------------------------------|---|---------------------------|------------------------|---|
| 午前 | | | 【新患外来】 【再診外来】 井桁 | 【新患外来】 【再診外来】 井桁 | |
| 午後 | 【再診外来】 井桁 ★先進医療外来 【第2・4週】 | | ●ケアラー外来 医師と患者さんの予定で決めています | | |

★先進医療外来：血液や髄液の蛋白質情報を診断と治療につなげてゆく外来です

